

とらいあぐる

～一人一人が幸せを実感できるまちへ～
編集 / 「とらいあぐる」編集員
問合せ先 / 本庁 ひとみらい政策課
ひとみらい政策グループ(内線 4741)

見ようとしなければ 見えないもの

女性の貧困問題から考える

不可視化されてきました。今回のとらいあぐるでは、一人一人の権利として「見ようとしなければ、見えないもの」があるのではと考え、この問題について市女性チャレンジ委員会アドバイザーでもあり、男女共同参画政策分野で活躍されている「たもつゆかり氏」にお話を伺いました。



▲たもつ ゆかり氏

Q 8050問題や引きこもりの問題について、どうお考えですか

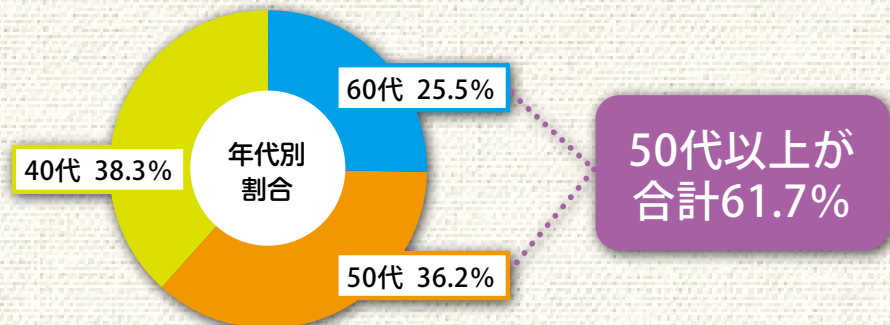
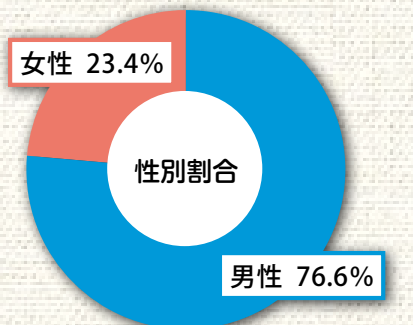
8050問題は、福祉の現場から問題視されるようになりました。この問題を、男女共同参画の視点「一人一人の権利」として考えると「高齢者の女性の貧困」という問題につながってくる場合があると思います。

Q 「女性の貧困問題」とは具体的にどのようなことなのでしょうか。

現在の中高年の方々が若い頃は、女

性は家庭に入り家事や子育てを行うことが当たり前といった考えがあり、また、就職氷河期で、特に女性が正規雇用として就職できない時代でした。そのため、「非正規雇用」が常態化している女性が多く、親と同居で経済的支援を受けていたり、無職で「家事手伝い」として生活をしている場合があります。親の支援を受けていけば、基本的な生活はできますが、親が高齢になることで介護が必要となったり、親が亡くなり年金収入が途絶え貧困状態に直面してしまう可能性もあります。これが、見ようとしなければ見えない「女性の貧困問題」です。

家事手伝いとして、家に居る女性をひとくくりすることで、問題視されていない場合はないか。引きこもりの女性の割合は男性に比べ少数ではあるが数字には見えない課題があるのではないか。生きづらさを抱えて生活をされている方に、どのようなまなざしを私たちは向けていくことができるのか。皆さんも一緒に考えていきましょう。



(参考) 内閣府「H30年度生活状況に関する調査」(対象: 40～64歳) 引きこもり者に関するデータ

メディア・リテラシーについて考える

私たちは、日々の生活の中でテレビ、新聞、雑誌、インターネットなど、さまざまなメディアの情報が溢れる社会で生きています。無数の情報がある中で情報をうのみにするのはなく、正しく活用するため、情報を主体的に読み解く能力や、読み解いた

情報を自分自身の表現で発信する能力のことを「メディア・リテラシー」といいます。情報メディアに関して日常でありがちな事例を次のマンガに示しました。このような場合どのような情報の見方、考え方が必要でしょうか。一緒に考えてみましょう。

女性に人気の○○ドリンク

美しさの基準って何?

男女共同参画社会を築くための一人一人の大切な一歩。みんなで話し合ったり、実際に調べてみたりして、メディアからの情報を主体的に読み解く力、情報を正しく発信できる力を育み、豊かな社会をつくっていきましょう!

おんぶはこりごり
作・絵: アンソニー・ブラウン
訳: 藤本 朝巳

とらいあぐる
おすすめ絵本

ママは毎日、パパや子どもたちの世話で大忙し。うんざりして、とうとう家出してしまいます。残された家族は……。

家族のあり方を問い直す一冊です。パパと息子たちは、会社や学校へ行く前に「あさこははまだかい」「あさこははまだー」ママは、みんなのお世話ばかりして、仕事に行つて、帰ってきてもお世話ばかり。「こははまだー」ある日パパが仕事から帰ってくる。「もうパパの世話はこりごり」とママから置手紙が。3人で家にあるだけの食べ物を食べますが、食器洗いも洗濯もしないので、だんだん家の中が……みなさんのご家庭はいかがでしょう。